

私たちにも関係がある

ガンがある

20才ー30才で子宮頸がんにかかる女性が増えている  
恋愛、仕事、結婚、そして赤ちゃんを産むこと  
私達の未来を守るために  
今、やらなければいけないことがある

見本  
SAMPLE

あなたが一度でもセックスをした経験があれば、子宮頸がんにかかる可能性がある

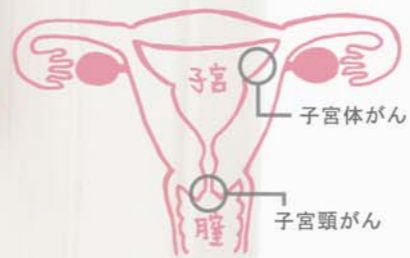
# 見本

子宮頸がんはセックスでうつるウイルスが原因。誰にでもかかる可能性がある

「セックスでうつる命に関わる病気」と言えば HIV を真っ先にイメージするかもしれない。実は子宮頸がんもセックスでうつるヒトパピローマウイルス (HPV) が原因で起こる。しかもこのウイルスは非常にありふれたもので、約70-80%の女性が一生に一度は感染する。そのほとんどは自然に消滅するけれど、消滅しなかった場合は子宮頸がんを引き起こす可能性がある。

子宮頸がん患者の25%は20歳代-30歳代

がんなんて年配のひとがかかる病気だと思ってしまうけれど、ウイルス感染に歳は関係ない。HPVに10代のときに感染していれば、がんとして発病するのは20代。実際に子宮頸がんの場合、患者の4人に1人は20歳から30歳の女性。



子宮がんには二種類ある。子宮頸がんは子宮の入り口にできるがん。子宮体がんは子宮の中にできるがん。

将来、赤ちゃんが産めなくなる、考えたくないけどそんな現実もある

# 見本

いつかは経験するかもしれない出産。もしそんな未来が選択肢から消えてしまったら...

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要になる場合もある。もちろん、将来妊娠、出産することができなくなる可能性がある。

子宮頸がんにかかって亡くなる人もいる。たった5分の検診で私たちの未来を守る

子宮頸がんはかかった瞬間に絶体絶命の病気ではない。早期に治療すれば子宮を摘出せずに完治できる。でも自覚症状がないから知らないうちに進行してしまう。自覚症状がない病気を早期に発見するには検診を受けるしかない。しかし多くの女性がなかなか検診に行かないから、見つかったときにはすでに手遅れで命を落としてしまうひともある。検診はとても簡単なもの。5分の検診で私たちの未来を守る。



自覚症状がない時期 = 子宮を摘出せずに完治できる時期 (約数年-10年)

この状態まで来ると多くの場合子宮摘出が必要になる

たった5分の検診で私たちの未来を守れる！

## 子宮頸がん検診

# Q & A

### どんな検診？痛みは？

大きめの綿棒で子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取。痛みはほとんどない。所要時間は5分程度。採取した細胞は専門の先生が顕微鏡で観察し、異形の細胞がないかを確認。精密検査が必要と言われたら、必ず精密検査を受けましょう。

### どうして検診に行くの？

子宮頸がんは放っておくと、子宮摘出、そして死に至るとも怖い病気。でも異常形成細胞（がんになる前の段階の細胞）の時点で治療すれば完治が可能。しかしこの時点で自覚症状はないため検診に行くことが必須。検診に行き異常が見つければ早く治療して完治するし、見つからなければ安心できるから検査を受けて損はない！

### 何歳から検診に行けばいい？

日本では20歳以上の女性に2年に1度の検診を勧めている。

### 婦人科に行ったことがないんだけど…

「婦人科は周りの目が気になる」というひともあるかもしれない。婦人科は生理不順など、女性特有の体の不調を扱い、女性の健康を守るためにある科。もちろん子宮頸がん検診も婦人科が取り扱う大切な項目のひとつ。妊娠経験のあるなしに関わらず30歳になるまでに75%の女性が婦人科に行った経験がある\*。女性の先生がいる婦人科もあるから、問い合わせてみよう。そして気負いせずに婦人科に行ってみよう。

### 検診はどこで受けられるの？値段は？

子宮頸がん検診を受けるには、実費で受ける方法と自治体の検診を利用する方法がある。実費であればどこの婦人科で受けてもいいけれど、自治体の検診を利用して地域内の指定された医療機関で受けると安く受けられる。〇〇市の場合、20歳以上の女性は自己負担0000円\*。

\* データソース：「母の日に聞く、女性の健康意識調査」ROCHE

\* 無料クーポンをお持ちの方は無料で検診を受けることができます。

